

非結球あぶらな科葉菜類（しろな、こまつな、みずな等）

農薬取締法上、「かぶ」、「だいこん」は葉を食用にする場合でも「非結球あぶらな科葉菜類」には含まれない。「ブロッコリー」「カリフラワー」等も「非結球あぶらな科葉菜類」には含まれない。「なばな類」は「非結球あぶらな科葉菜類」に含まれる。

- 1 こまつなの萎黄病対策として、抵抗性品種（YR）または耐病性品種（あゆみ、楽天など）を利用する。また、大阪しろな・チンゲンサイ・タアサイとの連作・輪作は、発病を助長する恐れがある。
- 2 炭そ病や白さび病、菌核病の被害株や根こぶ病の発病した根は、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 根こぶ病の防除対策として、あぶらな科野菜の連作を避け、石灰質資材を施用して土壌酸度を矯正する。また、排水を良くして過湿を避け、有機質資材を施用し、土づくりに努める。
- 4 コナガ、アオムシ、ヨトウムシ類等のチョウ目害虫やアブラムシ類、ハモグリバエ類の防除には、べたがけ資材の利用により被害軽減に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
萎黄病	こまつな	バスアミド微粒剤 劇 ー ガスタード微粒剤 劇 ー	20～30kg／10a	土壌混和 は種10日前／1回
	非結球はくさい （しろな含む）	バスアミド微粒剤 劇 ー ガスタード微粒剤 劇 ー	20～30kg／10a	土壌混和 は種または定植14日前／1回
	チンゲンサイ	キルパー ー	原液として 60L／10a	土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆 は種または定植10日前／1回
菌核病	みずな	ロブラール水和剤 2	1,000倍	45日／2回
白さび病	非結球あぶらな科 葉菜類	ランマンフロアブル 2 1 ライメイフロアブル 2 1	2,000倍 2,000～4,000倍	3日／3回 3日／3回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な、チンゲンサイ、 タアサイ、みずな ）	アミスター20フロアブル 1 1 ※a	2,000倍	7日／2回
	こまつな	ユニフォーム粒剤 1 1 4	9kg／10a	全面土壌混和 は種前／1回
	みずな	ユニフォーム粒剤 1 1 4	9kg／10a	全面土壌混和 は種前または定植前／1回
	チンゲンサイ	ユニフォーム粒剤 1 1 4	9kg／10a	全面土壌混和 定植前／1回
立枯病 （リゾクト ニア菌）	こまつな	フロンサイド粉剤 2 9	30kg／10a	全面土壌混和 は種前／1回
立枯病 （ピシウム 菌）	みずな	バスアミド微粒剤 劇 ー ガスタード微粒剤 劇 ー	30kg／10a	土壌混和 は種12日前／1回

※a非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずな）のアミスター20フロアブルの成分アゾキシストロピンの総使用回数は2回以内。

こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずなの総使用回数は3回以内（粒剤は1回以内、水和剤は2回以内）。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (1 1) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数	
立枯病	みずな	ダコニール1000 M5	1,000倍	土壌かん注 (3L/m ²) は種時／1回	
	みぶな	タチガレン液剤 3 2	500倍 1,000倍	土壌かん注 (3L/m ²) は種時／1回	
リゾクトニア病	みずな	リゾレックス水和剤 1 4	1,000倍	土壌かん注 (3L/m ²) は種時／1回	
苗立枯病 (リゾクトニア菌)	みずな	キルパー —	原液として 60L/10a	土壌表面に散布し、直ちに 混和し被覆 は種または定植10日前／1回	
炭そ病	非結球あぶらな科 葉菜類	スクレアフロアブル 1 1	2,000倍	前日／3回	
炭そ病・ 白斑病	非結球あぶらな科 葉菜類 (除チンゲンサイ、みずな)	ベンレート水和剤 1	4,000倍	21日／1回	
	チンゲンサイ			7日／1回	
	みずな			14日／1回	
白斑病	こまつな	アミスター20フロアブル 1 1	2,000倍	7日／2回	
根 こ ぶ 病	非結球あぶらな科 葉菜類	ネビジン粉剤 3 6※b	20～30kg/10a	全面土壌混和 は種または定植前／1回	
			20kg/10a	作条土壌混和 は種または定植前／1回	
	非結球あぶらな科 葉菜類 (除チンゲンサイ)	ネビリュウ 3 6※b	30kg/10a	全面土壌混和 は種前／1回	
			20kg/10a	作条土壌混和 は種前／1回	
	チンゲンサイ		20～30kg/10a	全面土壌混和 は種前／1回	
			20kg/10a	作条土壌混和 は種前／1回	
	非結球あぶらな科 葉菜類	オラクル粉剤 2 1※c	20～30kg/10a	全面土壌混和 は種前または定植前／2回	
				オラクル顆粒水和剤 2 1 ※c	200～300g/10a (100L/10a)
			200～500倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3～4L)当り500mL	かん注 定植前／1回	

※b ネビジン粉剤・ネビリュウの成分フルスルファミドの総使用回数は1回。

※c オラクル粉剤・オラクル顆粒水和剤の成分アミスブルロムの総使用回数は、6回以内。

(但し、土壌混和は2回以内、かん注は1回以内、散布は3回以内)。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (1 1) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
根 こ ぶ 病	非結球あぶらな科 葉菜類(除ケール 、こまつな、みず な、のぎわな、な ばな、みずかけな)	フロンサイド粉剤 2 9	30～40kg／10a	全面土壌混和 は種または定植前／1回
	みずな、こまつな	フロンサイド粉剤 2 9	30kg／10a	全面土壌混和 は種前／1回
	みずかけな		40kg／10a	作条散布 は種または定植前／1回
	なばな		15～20kg／10a	作条土壌混和 は種または定植前／1回
			30～40kg／10a	全面土壌混和 は種または定植前／1回
	非結球あぶらな科 葉菜類(非結球芽 キャベツ、こまつ な、非結球はくさい、なばな類、チ ンゲンサイ、みず なを除く)	バスアミド微粒剤 劇 一 ガスタード微粒剤 劇 一	30kg／10a	土壌混和 は種14日前／1回
	こまつな	バスアミド微粒剤 劇 一 ガスタード微粒剤 劇 一	20～30kg／10a	土壌混和 は種10日前／1回
	非結球はくさい (しろな含む)	バスアミド微粒剤 劇 一 ガスタード微粒剤 劇 一	20～30kg／10a	土壌混和 は種または定植14日前／1回
	チンゲンサイ	バスアミド微粒剤 劇 一 ガスタード微粒剤 劇 一	30kg／10a	土壌混和 は種または定植21日前／1回
	みずな	バスアミド微粒剤 劇 一 ガスタード微粒剤 劇 一	30kg／10a	土壌混和 は種12日前／1回

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数	
ア ブ ラ ム シ 類	非結球あぶらな科 葉菜類	ウララDF 2 9	4,000倍	前日／2回	
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な）	ベリマークSC 2 8	4,000倍	株元かん注(0.2L/㎡) 7日／1回	
	非結球あぶらな科 葉菜類（除チンゲ ンサイ）	モスピラン粒剤 4 A※1	3kg／10a	まき溝土壌混和 は種時／1回	総使用 回数 1回
		モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A※1	4,000倍		
		スタークル粒剤 4 A※2 アルバリン粒剤	6kg／10a	まき溝土壌混和 は種時／1回	
		アグロスリン乳剤 劇 3 A	2,000倍	前日／2回	
		チンゲンサイ			
	非結球あぶらな科 葉菜類（除チンゲ ンサイ、畑わさび ）	スタークル顆粒水溶剤 4 A アルバリン顆粒水溶剤 ※2	3,000倍	3日／2回	
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な、チンゲンサイ 、なばな類、みず な）	ダントツ水溶剤 4 A※3	2,000～4,000倍	7日／3回	
	こまつな		2,000～4,000倍	3日／3回	
	チンゲンサイ		2,000～4,000倍	7日／3回	
	みずな		2,000～4,000倍	7日／3回	

- ※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。
チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。
- ※2 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ、畑わさび）のスタークル顆粒水溶剤・スタークル粒剤、アルバリン顆粒水溶剤・アルバリン粒剤の成分ジノテフランの総使用回数は3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）。
チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）。畑わさびの総使用回数は3回以内。
- ※3 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、チンゲンサイ、なばな類、みずな）のダントツ水溶剤の成分クロチアニジンの総使用回数は3回以内。
こまつな、みずなの総使用回数は4回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）。チンゲンサイの総使用回数は4回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
ア ブ ラ ム シ 類	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な、ケール、チン ゲンサイ、のざわ な）	<u>アクタラ顆粒水溶剤</u> 4 A ※5	2,000倍	3日／2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除ケール、 からしな、ルッコラ 、四川搾菜（莖葉） 、畑わさび、畑わさび （葉））	<u>オルトラン水和剤</u> 1 B	1,500倍	21日／1回
	みずな	<u>ダントツ粒剤</u> 4 A ※4	6kg／10a	まき溝処理土壌混和 は種時／1回
		<u>アディオソ乳剤</u> 3 A	3,000倍	前日／3回
		<u>アドマイヤーフロアブル</u> 劇 4 A	4,000倍	3日／2回
	みずな	<u>ジェイエース水溶剤</u> 1 B <u>スミフェート水溶剤</u> 1 B ※6	1,500倍	21日／1回
		チンゲンサイ	<u>ジェイエース水溶剤</u> 1 B <u>スミフェート水溶剤</u> 1 B ※6	1,500倍
	こまつな	<u>アクタラ粒剤5</u> 4 A ※5	6kg／10a	作条混和 は種時／1回
		<u>ダントツ粒剤</u> 4 A ※4	6kg／10a	まき溝処理土壌混和 は種時／1回
		<u>アクタラ顆粒水溶剤</u> 4 A ※5	2,000倍	3日／2回
		<u>ランネート45DF</u> 劇 1 A	1,000倍	14日／3回 施設内では使用しない
		<u>ジェイエース粒剤</u> 1 B <u>スミフェート粒剤</u> 1 B ※7	3～6kg／10a	作条散布後土壌混和 は種前／1回
チンゲンサイ	<u>ジェイエース粒剤</u> 1 B <u>スミフェート粒剤</u> 1 B ※7	3～6kg／10a	作条散布後土壌混和 定植時／1回	

※4 みずな、こまつなのダントツ粒剤の成分クロチアニジンの総使用回数は4回以内。（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）。チンゲンサイの総使用回数は4回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）。

※5 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、ケール、チンゲンサイ、のざわな）のアクタラ顆粒水溶剤の成分チアメトキサムの総使用回数は2回以内。

こまつな、のざわなのアクタラ粒剤5・アクタラ顆粒水溶剤の総使用回数は3回以内（但し、は種時の作条混和は1回以内、は種後は2回以内）。チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、定植時の作条混和は1回以内、散布は2回以内）。

※6 みずな、チンゲンサイのジェイエース水溶剤、スミフェート水溶剤の成分アセフェートの総使用回数は1回以内。

※7 こまつな、チンゲンサイのジェイエース粒剤、スミフェート粒剤の成分アセフェートの総使用回数は1回以内。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
ア ブ ラ ム シ 類	チンゲンサイ	モスピラン粒剤 4 A ※1	3kg／10a	まき溝土壌混和 は種時／1回 または、 0.5g／株 株元散布 定植前日～定植当日／1回
		ダントツ粒剤 4 A ※4	6kg／10a	まき溝処理土壌混和 は種時／1回 または、 6kg／10a 作条処理土壌混和 定植時／1回
		スタークル粒剤 4 A ※2 アルバリン粒剤	6kg／10a	まき溝土壌混和 は種時／1回
		アクタラ粒剤5 4 A ※5	6kg／10a	作条混和 定植時／1回
		アクタラ顆粒水溶剤 4 A ※5	2,000倍	3日／2回
		ランネート45DF 劇 1 A	1,000倍	14日／2回 施設内では使用しない
		モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A ※1	4,000倍	7日／1回
		スタークル顆粒水溶剤 4 A アルバリン顆粒水溶剤 ※2	3,000倍	3日／2回

- ※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。
チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。
- ※2 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ、畑わさび）のスタークル顆粒水溶剤・スタークル粒剤、アルバリン顆粒水溶剤・アルバリン粒剤の成分ジノテフランの総使用回数は3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）。
チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）。畑わさびの総使用回数は3回以内。
- ※4 みずな、こまつなのダントツ粒剤の成分クロチアニジンの総使用回数は4回以内。（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）。チンゲンサイの総使用回数は4回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）。
- ※5 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、ケール、チンゲンサイ、のざわな）のアクタラ顆粒水溶剤の成分チアメトキサムの総使用回数は2回以内。
こまつな、のざわなのアクタラ粒剤5・アクタラ顆粒水溶剤の総使用回数は3回以内（但し、は種時の作条混和は1回以内、は種後は2回以内）。チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、定植時の作条混和は1回以内、散布は2回以内）。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

－非結球あぶらな科葉菜類－

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数	
アザミウマ類	非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回	
	みずな		5,000倍	3日／1回	
	非結球はくさい（しろな含む）		5,000倍	3日／2回	
	非結球あぶらな科葉菜類（除なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回	
	こまつな	ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回	
ハモグリバエ類	非結球あぶらな科葉菜類	アニキ乳剤 6	1,000～2,000倍	前日／3回	
	非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回	
	みずな		5,000倍	3日／1回	
	非結球はくさい（しろな含む）		5,000倍	3日／2回	
	非結球あぶらな科葉菜類（除なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回	
	チンゲンサイ		ダントツ水溶剤 4 A ※3	2,000倍	7日／3回
			ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回
			トリガード液剤 1 7	1,000倍	7日／2回
		パダンSG水溶剤 劇 1 4	1,500倍	7日／3回	
		アクタラ粒剤5 4 A ※5	6kg／10a	作条混和 定植時／1回	

- ※3 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、チンゲンサイ、なばな類、みずな）のダントツ水溶剤の成分クロチアニジンの総使用回数は3回以内。
こまつな、みずなの総使用回数は4回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）。チンゲンサイの総使用回数は4回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）。
- ※5 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、ケール、チンゲンサイ、のざわな）のアクタラ顆粒水溶剤の成分チアメトキサムの総使用回数は2回以内。
こまつな、のざわなのアクタラ粒剤5・アクタラ顆粒水溶剤の総使用回数は3回以内（但し、は種時の作条混和は1回以内、は種後は2回以内）。チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、定植時の作条混和は1回以内、散布は2回以内）。
- ※8 非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）のスピノエース顆粒水和剤の成分スピノサドの総使用回数は2回以内。非結球はくさいの総使用回数は2回以内、みずなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
グ リ メ バ エ モ	非結球あぶらな科 葉菜類（除なばな 類）	カスケード乳剤 1 5	2,000倍	7日／2回
ア オ ム シ	B T 剤については、野菜類の登録を参照			
	非結球あぶらな科 葉菜類（除なばな 類）	カスケード乳剤 1 5	2,000倍	7日／2回
	非結球あぶらな科 葉菜類	マッチ乳剤 1 5	2,000倍	3日／3回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除みずな 、非結球はくさい ）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回
	みずな		5,000倍	3日／1回
	非結球はくさい （しろな含む）		5,000倍	3日／2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除なばな 類、のざわな、チ ンゲンサイ、こま つな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回
	チンゲンサイ		1,000～2,000倍	3日／3回
	こまつな	コテツフロアブル 劇 1 3	2,000倍	3日／1回
	非結球はくさい （しろな含む）		2,000倍	3日／2回
	こまつな	ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回
	チンゲンサイ		2,500～5,000倍	前日／2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつな 、非結球はくさい、 みずな、なばな類）	アディオナ乳剤 3 A	2,000倍	前日／3回
	非結球はくさい （しろな含む）		2,000～4,000倍	前日／3回
	こまつな		2,000倍	前日／3回
	みずな		2,000倍	前日／3回
	チンゲンサイ		モスピラン粒剤 4 A ※1	0.5g／株
		アグロスリン乳剤 劇 3 A	2,000倍	前日／2回

※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。

チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。

※8 非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）のスピノエース顆粒水和剤の成分スピノサドの総使用回数は2回以内。非結球はくさいの総使用回数は2回以内、みずなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
ア オ ム シ	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な）	ベリマークSC 2 8	4,000倍	株元かん注(0.2L/㎡) 7日/1回
コ ナ ガ	BT剤については、野菜類の登録を参照			
	非結球あぶらな科 葉菜類	アクセルフロアブル 2 2 B	1,000倍	前日/3回
		アニキ乳剤 6	1,000～2,000倍	前日/3回
		マッチ乳剤 1 5	2,000倍	3日/3回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除なばな 類）	カスケード乳剤 1 5	2,000倍	7日/2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な）	ベリマークSC 2 8	4,000倍	株元かん注(0.2L/㎡) 7日/1回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除チンゲ ンサイ）	モスピラン粒剤 4 A ※1	3kg/10a	まき溝土壌混和 は種時/1回
	チンゲンサイ		3kg/10a	まき溝土壌混和 は種時/1回
			0.5g/株	株元散布 定植前日～定植当日/1回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除チンゲ ンサイ）	フェニックス顆粒水和剤 2 8	2,000～4,000倍	前日/2回
	チンゲンサイ		2,000～4,000倍	前日/2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除タアサイ ※9	プレバソンフロアブル5 2 8	2,000倍	前日/2回
	非結球はくさい （しろな含む）		2,000倍	前日/2回
	非結球あぶらな科 葉菜類（除こまつ な、みずな、なば な類）	プレオフロアブル UN	1,000倍	7日/2回
	こまつな		1,000倍	前日/2回
みずな	1,000倍		前日/2回	

※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。

チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。

※9 非結球あぶらな科葉菜類（除タアサイ、非結球はくさい、なばな類）のプレバソンフロアブル5の成分クロラントラニプロールの総使用回数は2回以内。

非結球はくさいの総使用回数は、3回以内（但し、かん注は1回以内、散布は2回以内）。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
コ ナ ガ	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、チンゲンサイ、なばな類）	ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回
	こまつな		2,500～5,000倍	前日／2回
	チンゲンサイ		2,500～5,000倍	前日／2回
	非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回
	非結球はくさい（しろな含む）		5,000倍	3日／2回
	みずな		5,000倍	3日／1回
	非結球あぶらな科葉菜類（除なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回
	チンゲンサイ		1,000～2,000倍	3日／3回
	こまつな		2,000倍	3日／2回
	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球芽キャベツ）	コテツフロアブル 劇 1 3	2,000倍	14日／1回
	非結球はくさい（しろな含む）		2,000倍	3日／2回
	こまつな		2,000倍	3日／1回
	チンゲンサイ		2,000倍	7日／1回
	非結球あぶらな科葉菜類	ヨーパルフロアブル 2 8	5,000倍	前日／2回
チンゲンサイ	パダンSG水溶剤 劇 1 4	1,500倍	7日／3回	
ハ カ ブ ラ チ ラ	非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）	モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A ※1	4,000倍	7日／1回
	チンゲンサイ		4,000倍	7日／1回
ヨ ト ウ ム シ	BT剤については、野菜類の登録を参照			
	非結球あぶらな科葉菜類（除なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回

※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。

チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。

※8 非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）のスピノエース顆粒水和剤の成分スピノサドの総使用回数は2回以内。非結球はくさいの総使用回数は2回以内、みずなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI剤(11)は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
ヨトウムシ類	非結球あぶらな科葉菜類	マトリックフロアブル 1 8	2,000倍	14日／3回
	非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回
	非結球はくさい（しろな含む）		5,000倍	3日／2回
	みずな		5,000倍	3日／1回
ハスモンヨトウ	非結球あぶらな科葉菜類（なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつなを除く）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回
	チンゲンサイ		1,000～2,000倍	3日／3回
	非結球あぶらな科葉菜類（こまつな、チンゲンサイ、なばな類を除く）	ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回
	こまつな		2,500～5,000倍	前日／2回
	チンゲンサイ		2,500～5,000倍	前日／2回
	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、なばな類）	プレオフロアブル UN	1,000倍	前日／2回
	こまつな		1,000倍	前日／2回
	みずな		1,000倍	前日／2回
	非結球はくさい（しろな含む）	プレバソンフロアブル 5 2 8	100倍 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	かん注 育苗期後半～定植当日／1回
	非結球あぶらな科葉菜類	アクセルフロアブル 2 2 B	2,000倍	前日／3回
	非結球あぶらな科葉菜類	アニキ乳剤 6	1,000～2,000倍	前日／3回
	チンゲンサイ	フェニックス顆粒水和剤 2 8	2,000～4,000倍	前日／2回

※8 非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）のスピノエース顆粒水和剤の成分スピノサドの総使用回数は2回以内。非結球はくさいの総使用回数は2回以内、みずなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法および 使用時期／使用回数
ハイマダラノメイガ	非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）	スピノエース顆粒水和剤 5 ※8	2,500～5,000倍	14日／2回
	非結球はくさい（しろな含む）		5,000倍	3日／2回
	みずな		5,000倍	3日／1回
	非結球あぶらな科葉菜類（除なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつな）	アフーム乳剤 6	1,000～2,000倍	7日／3回
	こまつな	ディアナSC 5	2,500～5,000倍	前日／2回
	チンゲンサイ		2,500～5,000倍	前日／2回
ハバチラ	非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）	モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A ※1	4,000倍	7日／1回
	チンゲンサイ		4,000倍	7日／1回
ウヤムシ	みずな	アディオン乳剤 3 A	3,000倍	前日／3回
ダイコン	みずな	アディオン乳剤 3 A	3,000倍	前日／3回
キスジノミハムシ	非結球あぶらな科葉菜類	フォース粒剤 劇 3 A	4kg／10a	全面土壌混和は種前／1回
		アクセルフロアブル 2 2 B	1,000倍	前日／3回
		アニキ乳剤 6	1,000～2,000倍	前日／3回
	非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）	スタークル粒剤 4 A ※2 アルバリン粒剤	6kg／10a	まき溝土壌混和は種時／1回
		スタークル顆粒水溶剤 4 A アルバリン顆粒水溶剤 ※2	2,000倍	3日／2回

- ※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。
チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。
- ※2 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ、畑わさび）のスタークル顆粒水溶剤・スタークル粒剤、アルバリン顆粒水溶剤・アルバリン粒剤の成分ジノテフランの総使用回数は3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）。
チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）。畑わさびの総使用回数は3回以内。
- ※8 非結球あぶらな科葉菜類（除みずな、非結球はくさい）のスピノエース顆粒水和剤の成分スピノサドの総使用回数は2回以内。非結球はくさいの総使用回数は2回以内、みずなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数使用量	使用方法および使用時期／使用回数
キスジノミハムシ	非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）	モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A ※1	4,000倍	7日／1回
	チンゲンサイ	スタークル粒剤 4 A ※2 アルバリン粒剤	6kg／10a	土壌混和 定植時／1回 もしくは まき溝土壌混和 は種時／1回
		スタークル顆粒水溶剤 4 A アルバリン顆粒水溶剤 ※2	2,000倍	3日／2回
		モスピラン粒剤 4 A ※1	0.5g／株	株元散布 定植当日／1回
		モスピラン顆粒水溶剤 劇 4 A ※1	4,000倍	7日／1回
	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、ケール、ひろしまな）	ダイアジノン粒剤5 1 B ※10	6kg／10a	全面土壌混和 は種時／1回
	こまつな		6kg／10a	全面土壌混和 は種時／1回
	みずな		6kg／10a	全面土壌混和 は種時または定植時 ／1回
	チンゲンサイ	パダンSG水溶剤 劇 1 4	1,500倍	7日／3回
	ケ ラ	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、ケール、ひろしまな）	ダイアジノン粒剤5 1 B ※10	6kg／10a
こまつな			6kg／10a	全面土壌混和 は種時／1回
みずな			6kg／10a	全面土壌混和 は種時／1回

※1 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ）のモスピラン粒剤・モスピラン顆粒水溶剤の成分アセタミプリドの総使用回数は1回。

チンゲンサイの総使用回数は、2回以内（但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内）。

※2 非結球あぶらな科葉菜類（除チンゲンサイ、畑わさび）のスタークル顆粒水溶剤・スタークル粒剤、アルバリン顆粒水溶剤・アルバリン粒剤の成分ジノテフランの総使用回数は3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）。

チンゲンサイの総使用回数は3回以内（但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）。畑わさびの総使用回数は3回以内。

※10 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、ケール、ひろしまな）のダイアジノン粒剤5の成分ダイアジノンの総使用回数は1回。

こまつな、みずな、ひろしまなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。

—非結球あぶらな科葉菜類—

病害虫名	作物名	農薬名	希釈倍数使用量	使用方法および使用時期／使用回数
ネキリムシ類	非結球あぶらな科葉菜類	フォース粒剤 劇 3 A	4kg／10a	全面土壌混和は種時／1回
	非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、ケール、ひろしまな）	ダイアジノン粒剤5 1 B ※10	6kg／10a	全面土壌混和は種時または定植時／1回
	こまつな		6kg／10a	全面土壌混和は種時または定植時／1回 もしくは土壌表面散布出芽時／1回
	みずな		6kg／10a	全面土壌混和は種時または定植時／1回 もしくは土壌表面散布出芽時／1回

※10 非結球あぶらな科葉菜類（除こまつな、みずな、ケール、ひろしまな）のダイアジノン粒剤5の成分ダイアジノンの総使用回数は1回。
こまつな、みずな、ひろしまなの総使用回数は1回。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

注3：QoI 剤 (11) は、耐性菌が生じやすいので、1作1回程度の使用に努める。